

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）
【会社名】	株式会社 銀座山形屋
【英訳名】	GINZA YAMAGATAYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山形 政弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目5番4号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区関町北二丁目3番20号(管理部)
【電話番号】	03(6680)8711(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 渡辺 光潤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第57期（平成13年3月31日）から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日）を適用し、会計基準変更時差異（218,821千円）を一括費用処理しておりますが、一部従業員（定年退職者等）の退職給付引当金の計上に関して、会社都合要支給額に基づく退職給付引当金を計上すべきところを、自己都合要支給額に基づき退職給付引当金を計上していたことにより、退職給付引当金の計上不足の状態になっていました。

その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、当社として今回の訂正を行うことといたしました。

なお、本件発生原因は、経理部門・人事部門と社外専門家とのコミュニケーション不足並びに基礎資料のチェック不足等が主たる要因と考えます。今後は関係者間のコミュニケーションの充実、基礎資料の妥当性・算出プロセスのダブルチェック等の励行を強化し再発防止に努めます。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第1 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第66期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(千円)	1,243,153	1,164,613	4,794,705
経常利益又は経常損失()(千円)	<u>3,647</u>	<u>15,894</u>	<u>183,840</u>
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失()(千円)	<u>1,890</u>	<u>192,208</u>	<u>218,085</u>
純資産額(千円)	<u>3,386,745</u>	<u>2,901,276</u>	<u>3,129,270</u>
総資産額(千円)	4,637,855	4,352,763	4,294,216
1株当たり純資産額(円)	<u>196.11</u>	<u>168.02</u>	<u>181.22</u>
1株当たり四半期純利益金額又は四半期 (当期)純損失金額()(円)	<u>0.11</u>	<u>11.13</u>	<u>12.63</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>73.0</u>	<u>66.7</u>	<u>72.9</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	36,988	101,599	74,692
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	78,039	16,679	133,107
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	443	891	1,854
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	738,415	797,778	680,390
従業員数(人)	395	386	381

～注略～

(訂正後)

回次	第66期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(千円)	1,243,153	1,164,613	4,794,705
経常利益又は経常損失()(千円)	<u>8,401</u>	<u>20,655</u>	<u>189,880</u>
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失()(千円)	<u>6,644</u>	<u>187,446</u>	<u>224,124</u>
純資産額(千円)	<u>3,273,243</u>	<u>2,781,741</u>	<u>3,004,975</u>
総資産額(千円)	4,637,855	4,352,763	4,294,216
1株当たり純資産額(円)	<u>189.54</u>	<u>161.09</u>	<u>174.02</u>
1株当たり四半期純利益金額又は四半期 (当期)純損失金額()(円)	<u>0.38</u>	<u>10.86</u>	<u>12.98</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>70.6</u>	<u>63.9</u>	<u>70.0</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	36,988	101,599	74,692
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	78,039	16,679	133,107

回次	第66期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	443	891	1,854
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	738,415	797,778	680,390
従業員数(人)	395	386	381

～注略～

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（訂正前）

(1)業績の状況

～前略～

このような環境の下で当社グループはオーダーメイドを柱に経営資源の集約化をするとともにブランド力の強化に取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は11億6千4百万円（前年同四半期比6.3%減）となりましたがオーダーメイドスーツ売上高の減少幅は前年同四半期比2.6%減で既存前年同四半期比0.9%減と下げ止まりの兆しが見え、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました結果、営業損失1千9百万円（前年同四半期は2千6百万円の営業損失）、経常利益1千5百万円（前年同四半期比335.8%増）となりましたが、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響等があり、四半期純損失1億9千2百万円（前年同四半期は1百万円の四半期純利益）となり、前年実績を下回ることとなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高6億1千9百万円、営業損失1千1百万円、卸売事業が売上高3億7千万円、営業損失3千5百万円、受託縫製事業が売上高1億6千8百万円、営業利益1千9百万円となりました。

～後略～

（訂正後）

～前略～

このような環境の下で当社グループはオーダーメイドを柱に経営資源の集約化をするとともにブランド力の強化に取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は11億6千4百万円（前年同四半期比6.3%減）となりましたがオーダーメイドスーツ売上高の減少幅は前年同四半期比2.6%減で既存前年同四半期比0.9%減と下げ止まりの兆しが見え、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました結果、営業損失1千4百万円（前年同四半期は2千1百万円の営業損失）、経常利益2千万円（前年同四半期比145.9%増）となりましたが、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響等があり、四半期純損失1億8千7百万円（前年同四半期は6百万円の四半期純利益）となり、前年実績を下回ることとなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高6億1千9百万円、営業損失1千1百万円、卸売事業が売上高3億7千万円、営業損失3千6百万円、受託縫製事業が売上高1億6千8百万円、営業利益2千1百万円となりました。

～後略～

第5【経理の状況】

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,778	680,390
受取手形及び売掛金	491,532	537,007
商品及び製品	165,030	148,151
仕掛品	18,359	20,163
原材料	139,854	125,720
その他	74,322	63,144
貸倒引当金	3,739	2,426
流動資産合計	1,683,138	1,572,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	148,168	145,709
その他 (純額)	267,740	267,711
有形固定資産合計	415,908	413,420
無形固定資産		
その他	8,047	7,201
無形固定資産合計	8,047	7,201
投資その他の資産		
投資有価証券	1,056,066	1,086,863
敷金及び保証金	978,160	989,090
その他	339,476	356,758
貸倒引当金	128,034	131,270
投資その他の資産合計	2,245,668	2,301,441
固定資産合計	2,669,624	2,722,063
資産合計	4,352,763	4,294,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	230,623	176,840
未払法人税等	5,510	11,125
ポイント引当金	39,973	36,914
その他	359,839	343,488
流動負債合計	635,947	568,367
固定負債		
退職給付引当金	485,560	478,343
役員退職慰労引当金	85,478	91,869
資産除去債務	222,208	-
その他	22,292	26,364
固定負債合計	815,539	596,577
負債合計	1,451,487	1,164,945

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	882,948
利益剰余金	563,236	371,027
自己株式	79,151	79,151
株主資本合計	2,968,121	3,160,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,845	31,058
評価・換算差額等合計	66,845	31,058
純資産合計	2,901,276	3,129,270
負債純資産合計	4,352,763	4,294,216

(訂正後)

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,778	680,390
受取手形及び売掛金	491,532	537,007
商品及び製品	165,030	148,151
仕掛品	18,359	20,163
原材料	139,854	125,720
その他	74,322	63,144
貸倒引当金	3,739	2,426
流動資産合計	1,683,138	1,572,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	148,168	145,709
その他（純額）	267,740	267,711
有形固定資産合計	415,908	413,420
無形固定資産		
その他	8,047	7,201
無形固定資産合計	8,047	7,201
投資その他の資産		
投資有価証券	1,056,066	1,086,863
敷金及び保証金	978,160	989,090
その他	339,476	356,758
貸倒引当金	128,034	131,270
投資その他の資産合計	2,245,668	2,301,441
固定資産合計	2,669,624	2,722,063
資産合計	4,352,763	4,294,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	230,623	176,840
未払法人税等	5,510	11,125
ポイント引当金	39,973	36,914
その他	359,839	343,488
流動負債合計	635,947	568,367
固定負債		
退職給付引当金	605,094	602,639

役員退職慰労引当金	85,478	91,869
資産除去債務	222,208	-
その他	22,292	26,364
固定負債合計	<u>935,074</u>	<u>720,873</u>
負債合計	<u>1,571,021</u>	<u>1,289,241</u>

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	882,948
利益剰余金	<u>682,770</u>	<u>495,323</u>
自己株式	79,151	79,151
株主資本合計	<u>2,848,587</u>	<u>3,036,034</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,845	31,058
評価・換算差額等合計	<u>66,845</u>	<u>31,058</u>
純資産合計	<u>2,781,741</u>	<u>3,004,975</u>
負債純資産合計	<u>4,352,763</u>	<u>4,294,216</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,243,153	1,164,613
売上原価	586,797	529,678
売上総利益	656,356	634,935
販売費及び一般管理費	682,819	654,236
営業損失()	26,462	19,301
営業外収益		
受取利息	511	588
受取配当金	24,032	29,019
受取手数料	3,747	3,755
雑収入	2,043	6,499
営業外収益合計	30,334	39,863
営業外費用		
支払利息	103	147
雑損失	120	4,521
営業外費用合計	224	4,668
経常利益	3,647	15,894
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	91
貸倒引当金戻入額	2,216	1,923
特別利益合計	2,216	2,014
特別損失		
固定資産除却損	-	301
減損損失	-	293
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
特別損失合計	-	206,970
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	5,863	189,061
法人税、住民税及び事業税	3,972	3,146
法人税等合計	3,972	3,146
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	192,208
四半期純利益又は四半期純損失()	1,890	192,208

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,243,153	1,164,613
売上原価	583,791	527,957
売上総利益	659,362	636,656
販売費及び一般管理費	681,071	651,196
営業損失()	21,708	14,540
営業外収益		
受取利息	511	588
受取配当金	24,032	29,019
受取手数料	3,747	3,755
雑収入	2,043	6,499
営業外収益合計	30,334	39,863
営業外費用		
支払利息	103	147

雑損失	120	4,521
営業外費用合計	224	4,668
経常利益	<u>8,401</u>	<u>20,655</u>
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	91
貸倒引当金戻入額	2,216	1,923
特別利益合計	2,216	2,014
特別損失		
固定資産除却損	-	301
減損損失	-	293
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
特別損失合計	-	206,970
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（ ）	<u>10,617</u>	<u>184,300</u>
法人税、住民税及び事業税	3,972	3,146
法人税等合計	3,972	3,146
少数株主損益調整前四半期純損失（ ）	-	<u>187,446</u>
四半期純利益又は四半期純損失（ ）	<u>6,644</u>	<u>187,446</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ()	5,863	189,061
減価償却費	9,750	13,601
減損損失	-	293
貸倒引当金の増減額 (は減少)	2,216	1,923
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	1,455	6,391
固定資産除却損	-	301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
退職給付引当金の増減額 (は減少)	5,174	7,216
受取利息及び受取配当金	24,543	29,608
支払利息	103	147
売上債権の増減額 (は増加)	21,139	51,757
たな卸資産の増減額 (は増加)	31,569	29,208
仕入債務の増減額 (は減少)	40,166	53,783
その他	3,415	1,760
小計	18,391	79,043
利息及び配当金の受取額	24,561	29,621
利息の支払額	103	147
法人税等の支払額	5,860	6,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,988	101,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,610	3,583
投資有価証券の取得による支出	490	509
敷金及び保証金の回収による収入	77,414	11,170
敷金及び保証金の差入による支出	48	240
出資金の回収による収入	4,500	-
貸付金の回収による収入	980	11,764
その他	705	1,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,039	16,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	443	891
財務活動によるキャッシュ・フロー	443	891
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	114,584	117,387
現金及び現金同等物の期首残高	623,830	680,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	738,415	797,778

(訂正後)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ()	10,617	184,300
減価償却費	9,750	13,601
減損損失	-	293
貸倒引当金の増減額 (は減少)	2,216	1,923
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	1,455	6,391
固定資産除却損	-	301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
退職給付引当金の増減額 (は減少)	9,928	2,455

受取利息及び受取配当金	24,543	29,608
支払利息	103	147
売上債権の増減額（　は増加）	21,139	51,757
たな卸資産の増減額（　は増加）	31,569	29,208
仕入債務の増減額（　は減少）	40,166	53,783
その他	3,415	1,760
小計	18,391	79,043
利息及び配当金の受取額	24,561	29,621
利息の支払額	103	147
法人税等の支払額	5,860	6,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,988	101,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,610	3,583
投資有価証券の取得による支出	490	509
敷金及び保証金の回収による収入	77,414	11,170
敷金及び保証金の差入による支出	48	240
出資金の回収による収入	4,500	-
貸付金の回収による収入	980	11,764
その他	705	1,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,039	16,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	443	891
財務活動によるキャッシュ・フロー	443	891
現金及び現金同等物の増減額（　は減少）	114,584	117,387
現金及び現金同等物の期首残高	623,830	680,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	738,415	797,778

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 259,648千円	給与手当 251,139千円
賃借料 138,042千円	賃借料 125,904千円
退職給付引当金繰入額 4,678千円	退職給付引当金繰入額 12,821千円
役員退職慰労引当金繰入額 1,455千円	ポイント引当金繰入額 3,059千円
ポイント引当金繰入額 2,299千円	

(訂正後)

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 259,648千円	給与手当 251,139千円
賃借料 138,042千円	賃借料 125,904千円
退職給付引当金繰入額 2,930千円	退職給付引当金繰入額 9,781千円
役員退職慰労引当金繰入額 1,455千円	ポイント引当金繰入額 3,059千円
ポイント引当金繰入額 2,299千円	

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

～前略～

2 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 6 月30日)

(単位 : 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	619,927	370,059	168,276	1,158,263	6,350	1,164,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	504,325	504,325	504,325	-
計	619,927	370,059	672,601	1,662,588	497,975	1,164,613
セグメント利益又は損失 ()	11,681	35,216	19,968	26,929	7,504	19,425

～注略～

3 . 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主要内容 (差異調整に関する事項)

(単位 : 千円)

利益	金額
報告セグメント計	26,929
「その他」の区分の利益	7,504
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	2,861
その他の調整額	1,558
四半期連結損益計算書の営業損失 ()	19,301

～後略～

(訂正後)

～前略～

2 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 6 月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	619,927	370,059	168,276	1,158,263	6,350	1,164,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	504,325	504,325	504,325	-
計	619,927	370,059	672,601	1,662,588	497,975	1,164,613
セグメント利益又は損失()	<u>11,742</u>	<u>36,207</u>	<u>21,689</u>	<u>26,260</u>	<u>11,596</u>	<u>14,664</u>

～注略～

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>26,260</u>
「その他」の区分の利益	<u>11,596</u>
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	2,861
その他の調整額	1,558
四半期連結損益計算書の営業損失()	<u>14,540</u>

～後略～

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>168.02円</u>	1株当たり純資産額 <u>181.22円</u>

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>0.11円</u>	1株当たり四半期純損失金額 <u>11.13円</u>
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	<u>1,890</u>	<u>192,208</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	<u>1,890</u>	<u>192,208</u>
期中平均株式数(千株)	17,269	17,267

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>161.09円</u>	1株当たり純資産額 <u>174.02円</u>

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>0.38</u> 円	1株当たり四半期純損失金額 <u>10.86</u> 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	<u>6,644</u>	<u>187,446</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	<u>6,644</u>	<u>187,446</u>
期中平均株式数(千株)	17,269	17,267

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座山形屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成21年8月11日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座山形屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成22年8月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。